

名古屋大学全学同窓会 岐阜支部 Newsletter

NAGOYA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION (NUAL) GIFU BRANCH

No.2 令和4年(2022)12月

<http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/gifu/index.html>

編集人 伊藤義人

itoh@civil.nagoya-u.ac.jp

令和4年度名古屋大学全学同窓会岐阜支部総会・講演会・交流会特集

はじめに

名古屋大学全学同窓会岐阜支部が設立されてから3年ぶりとなる支部総会・講演会・交流会が、第8波のコロナ禍中の令和4年12月11日、JR岐阜駅に隣接する「じゅうろくプラザ」で開催されました。対面とZoomによるオンラインの同時開催となりました。Zoomの音声障害と資料の共有に当初トラブルがありましたが、すぐに対応し、無事に総会・講演会・交流会が終了しました。

令和4年度名古屋大学全学同窓会岐阜支部総会・講演会・交流会次第

第一部：総会

開会の辞 小笠原文雄（岐阜支部長）

来賓挨拶 杉山直（名古屋大学総長）

松尾清一（東海国立大学機構長）

議事 活動方針 会計報告 監査報告 幹事会役員

第二部：講演会

題目 「新型コロナを振り返り、未来を切り開く」

講師 森島恒雄（愛知医科大学客員教授・岡山大学名誉教授）

第三部：交流会



受付



左から

小笠原支部長，森島先生，杉山総長，松尾機構長

第1部総会

1. 小笠原支部長挨拶



小笠原支部長から、実質2回目の岐阜支部総会・講演会・交流会を、対面と遠隔のデュアルモードで開催できることの喜びがまず述べられました。名古屋大学全学同窓会の設立理念に従って、大学と社会をつなぐ社会貢献も今後継続したいとの挨拶がありました。

2. 杉山総長挨拶

杉山直総長から、19枚のスライドを用いて、「名古屋大学の挑戦」と題して、名古屋大学の現状と杉山総長プラン（Next ビジョン）などについての説明がありました。



名古屋大学 Nagoya University



名古屋大学の挑戦

名古屋大学 総長
東海国立大学機構副機構長
杉山 直

名古屋大学 Nagoya University



東海国立大学機構の一員として世界屈指の大学を目指す名古屋大学

- ・研究力：世界トップレベル研究大学
 - ・6人のノーベル賞
 - ・指定国立大学
- ・教育力：国際通用性のある教育
 - ・アカデミックセントラル、教養教育改革
 - ・東海プラットフォーム棟の建設
- ・国際：世界へ羽ばたく
 - ・アジアを中心に世界展開
- ・社会連携：社会を変革する
 - ・名古屋大学発、学生発ベンチャー企業

卒業生・修了生の皆様、応援をよろしくお願い
します

3. 松尾機構長挨拶



松尾清一機構長から、岐阜支部総会・講演会・交流会の開催に対しての祝辞と東海国立大機構（名古屋大学＋岐阜大学）の現状と展望について説明がありました。

4. 議事



司会：西村今日子幹事



秋山晶則事務局長

司会の西村今日子幹事と秋山晶則事務局長によって議事が進められました。以下の3つの議案は、まとめて審議され、拍手で承認されました。

議案1．活動方針（案）

名古屋大学全学同窓会岐阜支部は、全学同窓会と協力し、全学同窓会の理念に従った活動として、年1回の総会・情報交換会を行うとともに、社会への情報発信につながる企画を立案・実行する。

議案 2. 会計報告・監査報告

* 2022年度決算

収 入		
(費目)	(金額)	(内訳)
繰越金	272,043	銀行270,562／現金1,481
利息	1	
全学同窓会	50,000	
総会協力金	46,000	
収入総計	368,044	

支 出		
(費目)	(金額)	(内訳)
総会会場費	108,500	会場設備費共
振込手数料	550	
繰越金	258,994	銀行246,563／現金12,431
支出総計	368,044	

(12月 1 日現在)

* 2023年度予算 (案)

収 入		
(費目)	(金額)	(内訳)
繰越金	258,994	
総会協力金	100,000	
収入総計	358,994	

支 出		
(費目)	(金額)	(内訳)
総会会場費	100,000	
事務費	1,000	
繰越金	257,994	
支出総計	358,994	

2022 年度 会計監査報告書

名古屋大学全学同窓会岐阜支部
支部長 小笠原 文雄 様

2022 度名古屋大学全学同窓会岐阜支部会計について、収入支出に伴う関係書類及び関係
帳簿・関係証票等を監査した結果、いずれも適正に処理、記載されていると認めます。

以上

2022年12月 1日

名古屋大学全学同窓会岐阜支部

監事

伊藤 義人



議案 3. 岐阜支部役員

支部長 小笠原 文雄（医学部） 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック理事長



監事	伊藤 義人（工学部）	名古屋産業科学研究所上席研究員/名古屋大学名誉教授 （名古屋大学全学同窓会副会長）
幹事	大西 隆信（文学部）	名古屋大学文学部同窓会幹事
	内山 文雄（経済学部）	大垣キワニスクラブ相談役
	北川 秀夫（工学部）	国立岐阜工業高等専門学校教授
	西村 今日子（文学部）	森松工業株式会社監査役 （名古屋大学全学同窓会副会長）
	星野 香（理学部）	元名古屋大学教員
	山田 邦夫（農学部）	岐阜大学応用生物学部教授
会計幹事	太田 裕之（法学部）	十六 TT 証券代表取締役社長
事務局長	秋山 晶則（文学部）	岐阜聖徳学園大学教育学部長



伊藤 義人



内山 文雄



大西 隆信



北川 秀夫



西村 今日子



星野 香



山田 邦夫



太田 裕之



秋山 晶則

第2部講演会

森島恒雄氏（愛知医科大学客員教授・岡山大学名誉教授）から、「新型コロナを振り返り、未来を切り開く」と題して、79枚のスライドを使った講演がありました。

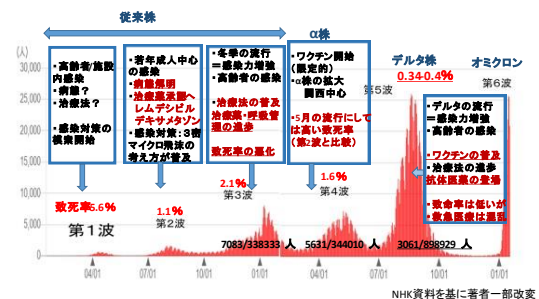


新型コロナを振り返り、未来を切り開く

- 2010-2020年前後の日本の科学/医学研究の現状。
- そしてコロナは始まった。
- WHOはいつも正しいとは限らない。
- 何故、コロナの制御は難しかったのか？
- 未来を語るときの基本的立場「私たちは未だ何もわかっていない」。

愛知医科大学 客員教授
岡山大学 名誉教授 森島恒雄

② 致死率に関連する要因



講演は、大変時宜を得たもので、臨床ウィルス学、とくに重症感染症の研究者として、以下の順に科学的な見地から詳しく説明されました。

- 1) コロナ禍が始まる前のウィルス性重症呼吸器感染症に係る診断・治療法の確立に関する研究（2018～2021 主任研究者 森島恒雄）から始まり、2010-2020 年前後の日本の科学/医学研究の現状
- 2) 武漢で始まった新型コロナウイルス感染症の特徴と実態
- 3) WHO の認識の甘さによる旅行者による世界的なパンデミック
- 4) 日本における新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急拡大対策会議が発足したが、新型コロナウイルスの制御がなぜ難しかったか。
- 5) オミクロン前後のウィルスの特徴の違い
- 6) 未来を語るときの基本的立場は、「私たちは未だ何もわかっていない」であるが、致死率が下がって、季節性の風邪コロナウィルスに向かっており、段階を踏んで日常に向けて with corona へのシフトを進めることが重要である。

講演後、会場および上海などの遠隔から、以下のような質問に対する質疑応答がありました。

- 1) ワクチンやマスクの必要性
- 2) 2類から5類への移行における守らなければいけない人（高齢者、疾患のある人）の重要性
- 3) 各国の新型コロナウイルスの蔓延に対する国際協調の必要性

森島先生から、質問に対して明確でわかりやすいご回答をいただき、多くの方々に喜ばれました。

第3部交流会

遠隔の方からのコメントをいただいた後で、対面会場でマスクをしての名刺交換と懇談が行われました。また最後に、対面会場の参加者全員の記念写真が撮られました。



おわりに

支部長 小笠原文雄



名古屋大学全学同窓会の岐阜支部の総会・講演会・交流会を無事開催でき、大変喜んでいました。タイムリーな講演をいただいた私と同期の森島恒雄先生および名古屋大学と東海国立大学機構の現状と展望をお話いただいた杉山総長と松尾機構長には厚くお礼申し上げます。また、今回の企画に尽力いただいた秋山事務局長をはじめとする支部の幹事の方々と全学同窓会事務の方々にも厚くお礼申し上げます。杉山総長と松尾機構長とご相談して、次回の会では、講演者として天野浩先生をお招きして実施する予定です。

開催期日が決まりましたら、後ほどお知らせしますので、ご参加いただければ幸いです。その時は、岐阜支部の会員だけでなく一般の方々の参加も可能とする予定です。

b.ogasaw@orion.ocn.ne.jp

事務局長 秋山晶則



お蔭をもちまして、2022年度岐阜支部総会・講演会・交流会を、対面とオンラインのデュアルモードで無事開催することができました。第8波のコロナ禍の中ではありましたが、来賓を含め80名を超える参加者で盛会となりました。参加費につきましても、多くの方々にご協力いただき、あわせて感謝申し上げる次第です。事務局として行き届かない点が多々ありましたことをお詫びするとともに、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

岐阜支部 E-mail : 2019nugaa@gmail.com

編集後記

無事に実質第2回目の岐阜支部の総会・講演会・交流会が開催され、その特集記事として、岐阜支部 NewsLetter No.2 を編集しました。岐阜支部 NewsLetter に対するご意見や適切な記事がありましたら、岐阜支部の e-mail (岐阜支部 E-mail : 2019nugaa@gmail.com) にご連絡ください。編集人